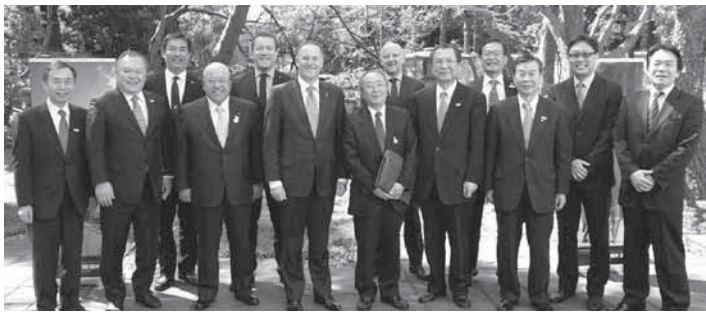


# 要人往来

日本市場への期待は相変わらず高く、各国要人のJATA訪問が相次いでいます。皆様のお話からアウトバウンドの本格回復に向けて、業界への期待をひしひしと感じます。



ジョン・キー首相兼観光大臣を囲む田川会長らJATA幹部



カイラット駐日エジプト大使(左から2人目)



アリコック駐日ジャマイカ大使(左から2人目)



ゴールドスティーン・カナダ政府観光局長兼CEO



カザフスタンのジョシバエフ外務副大臣



ハワイ政府観光局のデイビッドH.内山氏



クイーンズランド州観光局のマックロパーツ氏

## 日本との二国間で観光振興に努力

ジャマイカ 3月31日(火)

リカルド・アリコック駐日ジャマイカ大使

JATA本部で中村理事長と懇談し、「20年ほど前に比べて日本人旅行者が1割にとどまっており、日本との二国間で観光振興に努めていく。観光大臣会議の開催に向けて協力をお願いしたい」と要望。中村理事長は、「旅行市場をリードしているシニア層とOL層が求めるコンテンツとジャマイカの魅力をマッチさせる必要があります」と応えました。

## 万博を契機に日本から誘客強化

カザフスタン 3月23日(月)

ラビル・ジョシバエフ外務副大臣兼“ASTANA EXPO 2017”CEO

中村理事長を訪問し、「日本を含めた10カ国に対してビザ免除を実施して、直行便の就航に向けても努力しており、2017年に開催される万博を契機に日本人旅行者を増やしたい」と説明。中村理事長は、「知名度を上げるため、ツーリズムEXPOジャパンへの参加や旅行会社向けのセミナーなどで周知を図れば、旅行者も増加するでしょう」と応えました。

## 羽田空港からの昼間発着枠に意欲

ニュージーランド 3月25日(水)

ジョン・キー首相兼観光大臣

田川会長らJATA幹部と意見交換を行い、「昨年は外国人旅行者が300万人を超える記録的な年となり、引き続き、付加価値のある宿泊施設の開発やスポーツイベントなどを提案したい」と語り、羽田空港からの昼間発着枠確保に意欲を示しました。田川会長は、「若年旅行市場の開拓が重要であり、留学などの教育旅行に取り組んでいきたい」と応じました。

## 2016年に日本人旅行者200万人へ

ハワイ 3月25日(水)

デイビッドH.内山ハワイ政府観光局バイス・プレジデント・ブランドマネジメント

JATA本部を訪れてハワイ観光の促進について懇談し、「2016年までに日本人旅行者200万人の達成に向けて、JATAとの協力を考えていきたい」と説明。越智事務局長は、「安全問題などで方面によっては日本人旅行者が激減しており、ハワイに注目が集まるでしょう」と応じ、ツーリズムEXPOジャパンを通じた連携による活動などを提案しました。

## 成田からカンタス航空の就航が決定

オーストラリア 3月31日(火)

スティーブ・マックロパーツクイーンズランド州観光局グループ・エグゼクティブ・マーケティング

中村理事長を訪れ、「8月1日からカンタス航空による成田／ブリスベン線への就航が決まり、様々なスポーツイベントなどを活用して日本市場の取り組みに力を入れたい」と説明。中村理事長は、「留学や研修旅行、修学旅行を念頭に、公立高校などへアピールすれば、潜在需要を引き出すことができます。JATAとしても協力したい」と応じました。

## 風評被害の払拭へJATAの協力を

エジプト 4月7日(火)

イスマイル・カイラット駐日エジプト大使

新任挨拶のため田川会長を訪問し、「メディア報道などで政治不安への懸念があるようだが、政治情勢は安定しており、日本も含めた各国からの投資も始まっている。風評被害の払拭へJATAの協力をお願いしたい」と要請。田川会長は、「旅行業界を対象にセミナーやシンポジウムを開催すれば、JATAを通じて現状を伝えることもできます」と応えました。

## 建国150周年に向け様々なイベント

カナダ 4月17日(金)

デービッド・ゴールドスティーンカナダ政府観光局長兼CEO

越智事務局長を訪問し、「カナダ建国150周年を迎える2017年に向けて若年層を中心に様々なイベントを開催して、日本人旅行者を2017年までに40万人、2020年には80万人まで増やしたい」と説明。越智事務局長は、「東京と大阪からの便数も増えており、カナダ側のプロモーションに合わせてJATAも協力したい」と応じました。